

## 安倍首相が狙う 改憲

NHKで小池書記局長

総選挙後初の与野党幹部の討論が23日のNHK番組で行われ、安倍首相が狙う9条改憲が焦点になりました。出席した日本共産党の小池晃書記局長は次のように発言しました。

■「選挙では安倍政権による憲法9条改憲反対という日本共産党、立憲民主党、社民党の共闘が大きく伸びて、立憲民主党は（野党）第一党になった。『9条を変えない』という声が

総選挙「9条変えるな」の声高まる

日本共産党

高まった選挙だ」

■安倍首相は9条に自衛隊を明文化すると言っています。小池氏は「書き込もうとしている自衛隊は災害救助で頑張っている自衛隊ではない。安保法制（戦争法）で集団的自衛権を行使する、その自衛隊を書き込むことになれば、文字通り制約なく海外で武力行使ができるようになる」

災害救助でなく  
海外で戦争する自衛隊

憲法に書きこもうとしている自衛隊は

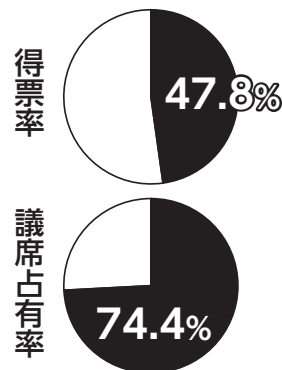
折り目

小選挙区制の  
害悪クッキリ

自民 得票47%議席74%

自民「大勝」が言われていますが、選挙区で一人しか当選せず、2位以下の投票が「死票」になる小選挙区制に助けられたためです。

民意を最も反映する比例代表選挙での自民党の得票率は33.28%。絶対得票率（有権者比）は17.49%で政権から転落した2009年総選挙時の18.1%を下回り続けています。



共産党12議席

捲土重来期す

共産・立憲・社民 38→69議席

共闘勢力大きく前進

近畿では2議席に

総選挙で共産党は、小選挙区・沖縄1区と比例代表の11議席、あわせて12議席を獲得。比例代表では前回の20議席から11議席に後

退しました。比例近畿ブロックでは定数1減(29から28に)のもと、4議席から2議席となりました。力不足が原因であり、次の国政選挙では必ず捲土重来を期します。

市民と野党の  
共闘さらに  
すすめます



記者会見する共産党 志位和夫委員長  
11月22日夜

大局に立ち67候補降ろす

今回の選挙では共産、立憲民主、社民の3野党が市民連合と7項目の政策合意を結んで協力・連携。立憲民主党が15から55議席へ躍進、3野党全体としては38から69議席に増やしました。

共産党は民進党の「希望の党」への合流という重大

な逆流が共闘に持ち込まれるなか、安倍政権打倒の大局に立って全国67の小選挙区で候補者を下ろす決断を行いました。この決断が、共闘勢力の前進に大きく貢献しました。これには「民主主義を守る大英断」「機敏な行動に驚き」など各界の人たちから共感が寄せられています。

近畿民報

2017年10月 No.4 (第303号)  
発行/日本共産党国会議員団  
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号  
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115  
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は  
以上の見解を  
発表しました。